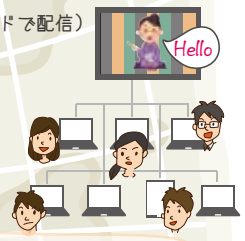
国際交流センターの活動

コロナが長期化している状況で、どのような国際交流をしているのか？

オンラインでの国際交流プログラム

（本学学生と海外協定校の希望者を対象にオンデマンドで配信）



第１弾　英語落語の世界
第２弾　英語での調理実習（お好み焼き）

◆その他

・経営学科　近藤ゼミでは…
シンガポールの協定校ナンヤンポリテクニック*のビジネスマネジメント学部のゼミと一緒に、シンガポール市場での日本酒・い草製品などの日本産品のマーケティングプロジェクトをオンラインで実施中。

＊ポリテクニックとは高等教育機関の一種。職業に深く結びついた技術、知識を習得できる。

・短大ライフデザイン総合学科観光・英語コース　山根ゼミでは…
インドネシア・バリ島の協定校ウダヤナ大学の日本文化学科の学生と少人数制チームで協働し卒業研究に向けてオンラインで活動中

見て！見て！うちの〇〇ちゃん

「我が家のめだかちゃん」

糸みたいな細いめだかの赤ちゃんが我が家にやって来て、早2年。すっかり大人になって、卵を産んで、家族が大きくなりました。（本部職員　K）

大阪国際滝井高等学校

オープンスクール　【事前予約不要】

11/15（日）★ 10：00 ～（受付開始 9：30 ～）

大阪国際大和田高等学校

要予約

〈入試説明会〉 **11/28**（土）
9：00 ～ / 11：00 ～ / 13：30 ～ / 15：30 ～

大阪国際大和田中学校

要予約

〈第２回プレテスト・入試説明会〉
11/7　（土）8：30 ～

〈入試直前対策会〉
11/22（日）10：00 ～

幼稚園トドラーデー

－音楽を楽しもう！リズム遊び等－

11/17（火）10：00～11：00
場所：大阪国際大和田幼稚園ホール

＊スケジュールは変更になることもあります。

2020 年 11 月 1 日発行
大阪府守口市藤田町 6-21-57
学校法人　大阪国際学園 企画・広報室
koho@oiu.jp

―さらにいろんな情報をご紹介しています。―

facebook.com/kuskusOIEI　Instagram.com/kuskusoiei

https://www.oiei.jp/kusutto/
こちらのホームページでくすくすバックナンバー等をご覧いただけます。

くすくす

―まなび・くらし・つながり―

2020 年 11 月号

No.90

名前『くすくす』の由来は、「くすくす談笑する様子」と「すくすく育つ」をかけています。

『くすくす』は、みなさまの「くらし」と大阪国際学園の「まなび」をつなげたい、そんな思いを込めたフリーペーパーです。

えすでぃーじーず？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

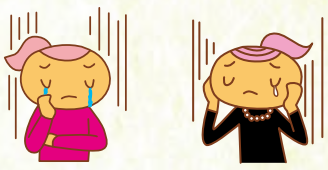
持続可能でよりよい世界を達成するために掲げた 17 の国際目標 SDGs（エスディージーズ）。今月は「5 ジェンダー平等を実現しよう」「6 安全な水とトイレを世界中に」「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を取り上げ、5について本学 西岡教授が解説します。

5 ジェンダー平等を実現しよう

既に、「女子差別撤廃条約」が、国際連合で1981年に締結されています。世界全体が取り組まなければならない深刻な課題です。

今回、SDGｓの目標５に、性差別がない未来を目指し、誰もが平等に機会を得られる社会づくりが挙げられています。その具体的なターゲットの一つに、女性への暴力があります。

そこで、2017年に日本の刑法の性犯罪規定が110年ぶりに大幅に改正されたことをご存知でしょうか？　「魂の殺人」と呼ばれる強姦罪の法定刑が強盗罪よりも軽いことが議論の発端でした。この刑の軽さは、刑法が制定された明治時代の性差別の名残であると言われています。性犯罪に対する世間の厳しい声に応えるかたちで、改正されたのです。しかし、被害を公にしたくない被害者の心情もあります。捜査や裁判の過程、社会からの二次被害に再び傷つくことを恐れるからです。



また、「デートDV」はご存知でしょうか？　婚姻関係がなくても「親密な」関係における暴力は発生します。常に居場所を聞かれる、携帯電話の履歴をチェックされるなど、それが暴力と知らず、愛されているからだとの勘違いも見聞きします。

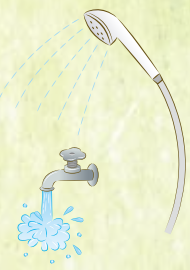
目標の達成に向けて、あなたは何から始めますか？まずは、身の回りにある当たり前だと思っていることに、目をむけてみる「気づき」を積み重ねていってほしいと思います。

（人間科学部心理コミュニケーション学科教授　西岡敦子）

6 安全な水とトイレを世界中に

世界では今、きちんと管理された安全な飲み水をすぐ手に入れることができない人が21億人以上います。また、人や家畜の糞便、工場排水などが流れ込んだ川や湖の水、あるいは土壌が汚染された地下水を飲んで下痢になり、命を落とす子どもも年間150万人にのぼります。

今後、人口増加や気候変動が進むと、水不足はさらに悪化するかもしれません。水が手に入りにくいものになれば、安全な水は今より高額になるでしょう。それでは貧しい地域の人はますます水不足に苦しむことになってしまいます。



こうしたことを防ぐには、途上国での上下水処理や再利用の仕組みを整えるとともに、地球規模で山地・森林や湿地、河川・湖沼などきれいな淡水をつくり出すのに必要な自然環境を保護・回復して、人々が持続的に水を使えるようにすることが必要です。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

世界では12億を超える人々が電気を使えない暮らしをしています。そうした地域では料理や暖房のために家の中で薪や炭を燃やすので、室内の空気が汚れ、人々の健康がひどく損なわれます。また、

太陽が沈んで暗くなると仕事も勉強も読書もできません。しかし今のところ、エネルギーの多くは石油や石炭、天然ガスなどの有限で温室効果ガスを排出する資源を使って生み出しているため、地球上で使う人が増えれば増えるほど気候変動が深刻化する恐れもあります。

この2つの問題を解決する方法は、つくったエネルギーをより効率的に使うこと、そして再生可能エネルギーの利用を増やすことです。より良い仕組みや技術を開発し、安価でクリーンなエネルギーを届けることが求められています。

（６・７：未来を変える目標　SDGｓアイデアブックより抜粋）

大阪国際学園教員紹介　：　No. 0004

研究分野：女性学 / 生活科学（被服）

大阪国際大学 人間科学部
心理コミュニケーション学科

西岡　敦子　教授

趣味:手工芸（鑑賞ではなく作り手です!）
手編み、レース、刺繍、ビーズ、メタル…など、資格も取得しています。手工芸は女性の領域なんて言っているのは誰？性別や年齢にかかわりなくみんなで楽しみましょう!

【西岡教授の作品紹介】

インド、カッチ地方の袱紗再現（ミラーワーク）
（神戸ファッション美術館　展示）

曼珠沙華のタペストリー（部分）（かぎ針編み）